

岡山

原尾島クリニック

●内科/白髭勇一 ●整形外科/高田賢治

岡山市中区原尾島3-8-16

TEL(086)271-3777

支局長 からの 手紙

いい笑顔がいっぱいですー写
真。島の子どもたち、小学校の校
長先生、公民館長……。笠岡市の
白石島で開かれた「白石島文化祭」
のひとコマです。

「島に生きる人は豊かな文化と
自然に囲まれて生き生きと暮らし
ている。たくさん島の入り江一
つ一つにまで名前がある瀬戸内
海。その海のように多様な価値を
柔らかく受け入れ、新たな可能性



を社会に還元していこう」という
のが文化祭の狙い。岡山市のNP
O法人(非営利組織)「ハート・
アート・おかやま」(田野智子代
表理事)が笠岡市白石公民館など
と一緒に開きました。子どもたち
は公民館で「しらしい島影絵
船が織りなすものがたり」
に出演しました。

影絵は東京に住むバリ舞踏
家、小谷野哲郎さんらのガム
ラングループ「ウロツテナヤ
子」(逆に読むと小谷野さん
の名)がインドネシア・バリ
の伝統舞踊や芝居を取り入
れ、島らしく船が出てくる場
面を島の子どもたち14人と作
り上げました。

「潮待ち、風待ちの島」と
して古くから多くの船が行き
交った白石島。影絵にも風や
波、雄大な風景が浮かび上が
ります。国の重要無形民俗文化財
「白石踊り」の場面では子どもた
ちが実際に踊り、そのシルエッ
トがスクリーンに。公民館は父母や
おじいさん、おばあさんの拍手と

笑いに包まれます。

「今まで一緒にやってきたこ
の子より元気。すごく積極的だ。
みんなの関係がしっかりとできて
いる」。小谷野さんはわずかな時
間に舞台を完成させた子どもたち
をたたえます。「こういう機

島をわくわくさせる

会があまりないので、影絵を
やれてよかった(さやさん)、
「最初はどうして影が映るか
知らなかったけど、やってみ
たらとても楽しかった」(ゆ
りさん)。子どもたちも初め
ての世界にすっかり溶け込み
ました。普段から接する市立
白石小学校長、三宅恵子さんも
「こんなに素敵な影絵になっ
てうれしくなりました。みん
なが地域に入って頑張ってま
す。大拍手です」と笑顔です。

ここには濃密な関係が残っている。
子どもたちにもお互いの関係が残
り、自然との触れ合いがある。『な
いもの』ばかりではない。『ある
もの』だらけで、わくわくして
く」と語ります。

白石島公民館長の天野正さんは
「外から来た人の力をいかに借り
るかが元気を出す方法につなが
る」と語ります。人口651人、
65歳以上が54%(9月1日現在)
と高齢化が進む島の中で、海の内
い岐阜県から中学生の修学旅行を
毎年受け入れるなど、島は価値を
生かして元気を呼ぶ道を探し続け
ています。

影絵の「世界初演」のあと
は島を語り合う「シマボジウム」
へ。文化祭を協賛・助成するアサ
ヒビル芸術文化財団事務局長、
加藤種男さんは「今、過疎地だと
か限界集落だとか言われるが、こ

「島にはもともと物語がある。
お年寄り一人一人にも島の物語が
生きている。感動し、共感できる
ものを引き出し、島をもう一度元
気にしてもらえよう応援した
い」(加藤さん)。島の人と一緒
になって「わくわくさせる島」へ。
NPO法人の田野さんらも、島で
の活動を次々と計画しているそう
です。【岡山支局長・松倉展人】